

「理科教育振興支援」
【一ものつくり人材の裾野拡大支援プロジェクト】
第2次応募要項

1. 趣 旨

昨年度に引き続き、東工大基金を活用して社会への貢献を促進するため、次のテーマにおいて「理科教育振興支援（ものつくり人材の裾野拡大支援プロジェクト）」を実施する。

産業の空洞化、人材・技術の流出が社会的課題になっている中で、科学技術創造立国の確立を目指す我が国にとって、将来のものつくり人材の裾野を拡大することが肝要である。

このため、「第3期中期目標・中期計画」に掲げる「初等中等教育の理科教育への支援」を実践する、我が国の将来を担う小・中・高校生を対象とした知的創造性を育む活動やイベント開催に対して、補助予算を配分しその促進を図る。

2. 応募資格

本学の教職員（非常勤職員含む）又は学生

3. 応募の概要

- (1) 別添様式により応募する。なお、学生が主催する活動においては、本学教職員の協力（サークル等の顧問教員、助言教員等）を得ることが望ましい。
- (2) 審査に当たっては、卒業生、地域社会、企業等と有機的に連携する事業を優先する。
- (3) 本プロジェクトとして認められたものについて、1件につき50万円以内で補助を行う。
- (4) 応募期間は、令和元（2019）年10月8日～10月28日までとする。
（支援期間は、令和2（2020）年3月31日まで）
- (5) 経費執行等の取扱いは、大学の会計規程等に則するものとする。なお、換金性の高いパソコン等の消耗品の購入は認めない。
- (6) 前回までの継続・発展的な内容での申請については、過去の申請内容を流用（コピー）せず、必ず新しい視点で作成すること。
- (7) 申請総額欄の積算内訳（物品費、旅費・謝金、その他印刷費等）が申請内容から具体的に読み取れるよう、申請書には当該活動を実施するためには、何がどれだけ必要なのかを具体的な内容で記載すること。
- (8) 工具器具備品類が計上されている場合、所属部署において準備することが望ましいものかのヒヤリングを行う場合がある。

[注意事項]

- * 審査は、副学長（常勤）が行う。

- * イベントの紹介や挨拶の中に本プロジェクト名を明記する。

- * 実施に当たっては、適切な人数の配置、保険加入等参加者への安全配慮を徹底する。
学内で公開実験等を伴うイベントについては、本学所定のリスクアセスメントを実施する。

- * 本支援経費を使用して行った活動終了時に、活動報告書を作成し提出する。活動報告書は、ウェブ等で広く紹介する予定である。

- * 感謝の集いなど東工大基金に係るイベントに、要請に応じて、参加する。

4. 応募方法

○メールにより応募。応募先は以下のとおり。

応募先：広報・社会連携課基金室 募金グループ 内線 2415・2417, FAX2485
メールBOX：T-2 E-mail: koh.bok@jim.titech.ac.jp 担当 高井・馬島